

令和 8 年 3 月 9 日

保護者 様

加古川市立氷丘中学校  
校長 加 藤 勉

### 令和 7 年度 学校アンケートの結果について

啓蟄の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の学校教育にご協力とご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、1月中旬から実施しました保護者アンケート及び、生徒、教員によるアンケートの結果の概要を下記のとおりご報告いたします。

また、本結果については、学校評価部会並びに学校運営協議会での委員の皆様のご意見（学校評価）を踏まえて、次年度の教育活動に生かしてまいります。

なお、アンケート結果は、本校ホームページ上にも掲載いたします。

### 記

#### (1) 生徒アンケート結果から

- ・校訓を指標とした『自主、創造、奉仕について』は、昨年と同様の数値でしたが、「氷丘まつりやその他地域の行事に参加したことがある」の数値が伸びており、学校、保護者、地域が、互いに連携・協力することを継続した成果が現れていると感じます。一方で、「人の役に立つ人間になりたいと思う」の数値は昨年度より低くなっており、社会の一員としての自覚や役割を理解するために、社会と自己のかかわりを実感できるような体験型の学習を引き続き計画的にすすめていきます。
- ・設問別では、「友だちが困っている時は、進んで助けている」「悩み事を相談したり、話をきいてもらったりできる大人（先生、スクールカウンセラーなど）がいる」「他者の立場で物事を考えることができる」などが、特に高い数値となりました。仲間に対する思いやりの気持ちが育まれ、不安や悩みを抱えたときは、声をあげて頼ることのできる身近な大人がいることがわかりました。半面、「スマートフォンやクロームブックなどの使い方のルールやモラルを守っている」については、課題がみられます。情報モラル教育を一層推進するとともに、SNS に依存せず現実の人間関係や自分を大切にすることを継続して指導してまいります。
- ・平日の1日あたりの学習時間は、1時間以上～2時間未満が一番多く 29.1%（昨年度 28%）、次いで2時間以上～3時間未満は 23.4%（昨年度 24%）でした。平日1日あたりゲームをする時間は、1時間以上～2時間未満が一番多く 30%（昨年度も 30%）でした。
- ・「50周年記念事業を通して、学校や地域への愛着や誇りを生徒にもつことができた」については、数値だけではなく、生徒の感想文等を読んでも、一定の成果を得られたと考えます。

#### (2) 保護者アンケート結果から

- ・『家庭での教育について』においては、本年度も高い数値を維持しているのが、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと家庭で話し合っている」です。前述の生徒アンケートの結果も同様の数値で、高い意識が備わっているものと思います。
- ・『学校は、便りやお知らせ、ホームページで適切に情報を提供している』については、これまで同様高評価をいただきました。今後も保護者の方々への適切な情報共有に努めてまいります。
- ・『子どもたちのトラブルやいじめ未然防止・早期対応、学校に行きづらい子どもの対応や支援について』ここ数年同様の数値でした。より一層生徒理解に努め、一人一人に寄り添った支援を心掛けてまいります。

#### (3) 教員アンケート結果から

- ・『授業改善の達成度』では、授業の学習規律を成立させることや、生徒理解に基づく指導を心がけているという観点で高い数値となりました。今後も継続してまいります。
- ・『情報発信』『学校安全』については、ここ数年より高い数値で、今後も保護者・地域の方々との相互理解を大切にしながら、生徒の安全管理を徹底していきたいと思えます。
- ・「学習内容の理解に応じた指導」や「掲示や教材・教具の配慮等を常に工夫」には、多様性を包摂する観点からも柔軟に対応・改善するため、教員の指導力向上につながる研修や研鑽に努めてまいります。